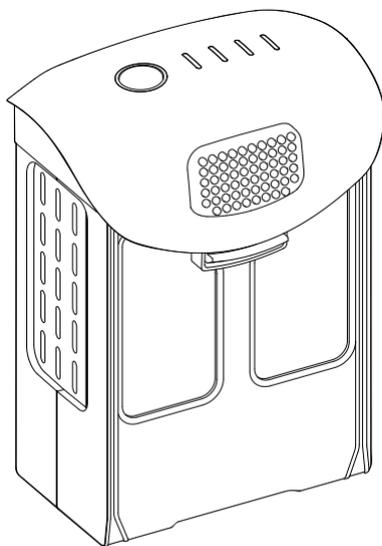


PHANTOM 4 シリーズ

インテリジェント・フライト・バッテリー 安全ガイドライン

V1.0 2016.10



注記

手順書および付属書はすべて、SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD 独自の裁量で変更されることがあります。最新の製品情報については、<http://www.dji.com> にアクセスして、本製品に対応する製品ページをクリックしてご覧ください。

用語集

本製品の関連資料では、以下の用語で製品操作時に起こりうる危険のレベルを示しています。

- ☞ 注記: 手順を正しく実行しないと、物的な損害が発生する可能性があります。負傷の可能性は全くないか、あってもごく軽微です。
- ☞ 注意: 手順を正しく実行しないと、物的な損害が発生するとともに、重傷を負うおそれがあります。
- ☞ 警告: 手順を正しく実行しないと、物的な損害が発生するとともに、巻き添え事故、重傷のおそれがあるほか、高い確率で軽傷を負います。

警告

ユーザーマニュアル全文をよく読んで、機能に習熟してから、本製品を操作してください。本製品を安全かつ責任をもって操作しないと、傷害や本製品またはその他の財産の損害を招くおそれがあります。本製品は高度な機能を備えています。慎重かつ良識をもって操作とともに、基本的な機械知識が求められます。本製品は、大人の監督下にない子供の使用を想定していません。互換性のないパーツを使用しないでください。また、SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD が提供する資料に記載されている以外の方法で本製品を改造しないでください。本安全ガイドラインには、安全、操作、メンテナンスの手順を記載しています。本製品を正しく操作し、損害や重傷を避けるためには、組み立て、設定、使用を開始する前に、本ユーザーマニュアルに記載する手順と警告をすべて読み、これに従うことが重要です。

インテリジェント・フライト・バッテリーに関する安全ガイドライン

警告

火災、重傷、物的損害を避けるため、バッテリーの使用、充電、保管時には、以下の安全ガイドラインを順守してください。

バッテリーの使用

1. バッテリーはいかなる液体類にも接触させないでください。バッテリーを雨に曝したり、水分の近くに放置したりしないでください。バッテリーを水中に落とさないでください。バッテリー内に水分が入ると、化学分解が発生し、バッテリーが発火して、爆発につながるおそれがあります。
2. DJI™ バッテリー以外を使用しないでください。新しいバッテリーを購入するには、www.dji.com にアクセスしてください。DJI 以外のバッテリーに起因する損害に対して、DJI は一切責任を負いません。
3. バッテリーに膨張、漏れ、損傷がある場合には使用しないでください。バッテリーに異常がある場合には、DJI または DJI 正規販売店にご連絡ください。
4. 機体の電源がオンの状態で、バッテリーの装着や取り外しをしないでください。バッテリーのプラスチックカバーに破れなどの傷がある場合には、バッテリーの装着や取り外しをしないでください。
5. バッテリーは -10~40 °C の温度で使用してください。50 °C を超える環境でバッテリーを使用すると、火災や爆発につながるおそれがあります。-10 °C 未満でバッテリーを使用すると、回復不能な損傷につながる可能性があります。
6. 強い静電環境や電磁環境でバッテリーを使用しないでください。こうした環境でバッテリーを使用すると、フライト中にバッテリーコントロールボードが誤作動し、重大な事故につながるおそれがあります。

7. いかなる方法でもバッテリーの分解や穴あけを行わないでください。バッテリーの漏れ、発火、爆発が起こるおそれがあります。
8. バッテリーの電解質には非常に高い腐食性があります。電解質が皮膚に触れたり、眼に入った場合には、ただちに流水で 15 分以上洗い流してから、すぐに医師の診察を受けてください。
9. 墜落や激しい衝撃を受けた場合には、バッテリーを使用しないでください。
10. フライト中に、バッテリーが機体とともに水中に落下した場合には、すぐに水中から取り出して、安全で開けた場所に置いておきます。完全に乾燥するまで、バッテリーから安全距離を保ってください。バッテリーは今後一切使用せず、以下の「バッテリーの廃棄」のセクションの記載に従って、適切にバッテリーを廃棄してください。バッテリーを熱さないでください。バッテリーが発火した場合には、砂や乾燥粉末消火剤を使って消火してください。
11. 電子レンジや高圧容器内にバッテリーを入れないでください。
12. 金属製テーブルなど導電性を有する物の表面上に、カバーから取り外した電池をそのまま置かないでください。
13. カバーから取り外した電池をポケット、バッグ、引き出しに入れないでください。他のものに接触したり、バッテリー端子が相互に押し付けられて、短絡を引き起こすおそれがあります。
14. バッテリーを落下させたり、叩かないでください。バッテリーや充電器の上に重量のある物を置かないでください。バッテリーを落とさないようにしてください。
15. 清潔な乾いた布でバッテリー端子を清掃してください。

バッテリーの充電

1. バッテリーをコンセントや自動車のソケット充電器に直接接続せず、必ず DJI の純正アダプタを使用してください。DJI 以外のバッテリーを使用してバッテリーを充電した場合、DJI は一切責任を負いません。
2. 充電中にバッテリーを放置しないでください。可燃物の近くやカーペット、木などの燃えやすい物の上でバッテリーを充電しないでください。
3. フライトの直後にはバッテリーが過熱しているため、すぐに充電しないでください。常温に冷めるまで、バッテリーを充電しないでください。バッテリーを 5~40 °C の温度範囲外で充電すると、漏れ、過熱、バッテリーの損傷に至るおそれがあります。
4. 使用しないときには、充電器を取り外してください。コード、プラグ、筐体、その他の部品に損傷がないか、充電器を定期的に確認します。変性したアルコールまたはその他の可燃性溶剤で、充電器を清掃しないでください。損傷した充電器を使用しないでください。

バッテリーの保管

1. 子供やペットの手の届かないところにバッテリーを保管してください。
2. 炉やヒーターなどの熱源の近くにバッテリーを放置しないでください。暑い日にバッテリーを自動車内に放置しないでください。理想的な保管温度は 22~28 °C です。
3. バッテリーは乾燥した状態で維持してください。水中にバッテリーを落とさないでください。
4. バッテリーを落としたり、叩いたり、突き刺したり、手でショートさせたりしないでください。
5. バッテリーを眼鏡、時計、宝飾品、ヘアピンなどの金属に近づけないでください。
6. 損傷したバッテリーや、電力の残量が 50 % を超えるバッテリーを搬送しないでください。

バッテリーの廃棄

1. 完全に放電してから、指定のリサイクルボックスに入れてバッテリーを廃棄してください。通常のゴミ容器にバッテリーを入れないでください。バッテリーの廃棄やリサイクルに関する現地の規制を厳守してください。

バッテリーのメンテナンス

1. 極端な高温や低温でバッテリーを使用しないでください。
2. 60 °C を超える環境にバッテリーを保管しないでください。

移動に関する注意

1. インテリジェントフライトバッテリーを航空機に持ち込む前に、完全に放電しておく必要があります。バッテリーが空になるまで機体を飛行させることで放電できます。バッテリーの放電は耐火性の場所でのみ実施してください。

注記

バッテリーの使用

1. フライトの前に、必ずバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。
2. DJI GO アプリでバッテリーレベル低下警告が表示されたら、すぐに機体を着陸させてください。

バッテリーの充電

1. インテリジェントフライトバッテリーは、フル充電に達すると充電を停止するよう設計されています。しかし、充電の進捗状況を監視し、完全に充電したらバッテリーの接続を取り外すようお勧めします。
2. 充電中、インテリジェントフライトバッテリーは必ずオフにしてください。

バッテリーの保管

1. バッテリーを 10 日以上使用しない場合には、40～65 %までバッテリーを放電してください。これにより、バッテリー寿命を大幅に延長できます。
2. 10 日間以上使用されない場合、バッテリーが膨張しないよう、自動的に 65 %より低いレベルまで放電します。DJI GO アプリで、アイドリング時間のしきい値を変更できます。65 %までバッテリーを放電するのに、約 3 日間かかります。放電の過程で、バッテリーから多少の熱が放出されても問題ありません。バッテリーは専用バッテリーボックスに入れて保管することをお勧めします。
3. バッテリーが長期間空の状態でも保管されている場合、休止モードに入ります。バッテリーを 5 分間放置すると、電源がオフになります。バッテリーを再充電して、休止状態から回復します。
4. 長期間保管する場合には、機体から電池を取り外してください。
5. バッテリーを完全に放電した後で、長期間保管してはいけません。バッテリーが過放電し、電池が損傷して修理不能になるおそれがあります。

バッテリーの廃棄

1. インテリジェントフライトバッテリーの電源オン/オフボタンが無効で、バッテリーを完全に放電できない場合、電池の廃棄/リサイクルを専門とする代理店に問い合わせて、サポートを受けてください。
2. バッテリー寿命が 0 %になったら、バッテリーを適切に廃棄してください。

バッテリーのメンテナンス

1. 電池が損傷するおそれがあるため、過放電をしないでください。
2. 長時間使用しないと、バッテリー寿命が短くなることがあります。
3. 少なくとも 3 ヶ月に 1 回は、バッテリーのフル充電とフル放電を行い、バッテリーの健全性を維持します。

移動に関する注意

1. インテリジェントフライトバッテリーは、通気のよい場所に保管してください。

本内容は変更されることがあります。

最新版は下記よりダウンロードしてください。

www.dji.com/support

If you have any questions about this document, please contact DJI by sending a message to DocSupport@dji.com.

PHANTOM™ is a trademark of DJI.
Copyright © 2016 DJI All Rights Reserved.



Printed in China.